

令和5年度第2回防災プロジェクト会議

日 時	令和5年9月22日（金） 午後2:00～午後4:00
場 所	厚木シテイプラザ 6階 サイエンスホール 250
出席者	民生委員・児童委員、厚木市社会福祉協議会 あつぎ災害ボランティアネットワーク、 （特非）ゆうかり 障害者地域活動支援センターレザミ工芸、 （株）BISCUSS 生活介護ajito、 （社福）野百合会 指定特定相談支援事業所「まゆみ」 （社福）すぎな会 すぎな会生活ホーム 厚木市障がい福祉課、厚木市障がい者基幹相談支援センター

1. 開会

総合司会 厚木市障がい者基幹相談支援センター

- ・資料確認（次第、名簿、検証用プレイ配置図、神奈川工科大学との研修会の内容、実施要領、キャンパスマップ、避難所受付簿）

- ・挨拶

議事進行 （社福）すぎな会 すぎな会生活ホーム

2. 議題

(1) 防災対策チェックリストの検証について

委員が障がい者役と避難所受付役に分かれて、防災対策チェックリストを受付に持参し、実際に防災対策チェックリストを使って受付できるのかどうか実施、検証した。

・実施後の意見交換（1回目）

障がい者役

- ・身体障がい者役（会話のやりとりはできるが、身体の機能面が問題な方）
環境面（手すり、ベッド、みんなのトイレがあるのか）と受付の人に聞いてみた。
トイレがないと言われると不安になるが、家にいるのが不安だから来ると思う。受付の人が丁寧に聞いてくれ、教えてくれた。
- ・知的障がい者役（女性が苦手な方）
パソコンがしたいと要望したら、確認しておきますと言われた。
当事者は待たされるといつでいいのか再三聞いてくるのが予想できる。
早めの対応があれば安心できる。
- ・精神障がい者役（パニックになると要望が伝えられない。のどが渇きやすい方）
大きな声で誘導して欲しい。一人になれる場所が欲しい。
- ・視覚障がい者役（目が不自由な方）
受付が丁寧に誘導してくれた。一人でポツンという状況になるので、別室にいても時々声をかけてくれると不安が軽減する。
- ・精神障がい者役（双極性障がい状態に波があり、うつ状態で寝込んでしまっている。しかし一人にいるのも不安なので避難所に来た方）
受付の人の態度がゆっくり落ち着いていて安心した。
- ・知的障がい者役（耳が遠い方）
ゆっくり話をして欲しい。なかなか自分から声がかけれないので、事前に「ここがトイレ」とか「水はこちらにある」など、生活する際に必要だと思われる場所を教えて欲しい。

避難所受付役

- ・女性が苦手と書いてあったのに、チェックリストを見ずに受け付けしてしまった。
まず、先にひととおり見た方が良かった。別室利用者が多いのに別室の数も考えずに案内をしてしまった。
- ・もう少し、待機場所を説明すれば良かった。
- ・受付にどんどん人が来る中で、立ったまま受付するのを待ってもらっていた。椅子や落ち着けるものがあるといいなと思った。

その他

- ・何年か前に台風で避難した時に（地震ではないので）水や食料もなく一晩過ごした。その際、寒かった。食料も持ってこない人もいたが、対応してもらえなかった。
- ・同じ時に避難をした方が、避難場所がいっぱいで正規避難場所に避難できず、GHが遠い避

難場所に連れて行ってくれたが、一人では避難できなかったと思う。正規避難場所に避難できないことが不安だった。

- ・防災対策チェックリストは、ここで初めて見た。知らなかった。
- ・「チェックリストを出してください。」と言葉で言うよりも、避難所にチェックリストを置いて目で見てわかるようにしておく方が良いのではないか。

・実施後の意見交換（2回目）

障がい者役

- ・身体障がい者役（肢体不自由な方）

受付のやり取りを見ているので、チェックリストを見てくれて案内をしてくれると安心感がある。必ず「介護が必要」ということが出てくる。あるといいが、その人その人に必要な支援のバリエーションが多すぎる。肢体不自由の人は、避難所に行くかどうかの判断の時に、車椅子用トイレがあるのか、段差がないかが重要になる。あと手すりやベッドもある。自助の部分でどこまでチェックリストに書くのか難しくて書けない。

事前に避難所に個人で見に行くことは難しい。（自治会の避難訓練に参加すれば可能なこともあるが、自治会に入っていない方もいる）

- ・知的障がい者役（ペットの犬を連れてくる方）
犬も家族だが、一緒には入れず、外で待機。
ペットの対応はどうか。

⇒ 避難所（小・中学校開設）は、ペットの受け入れは、できるところとできないところがあるが、受け入れはできても一緒にはいることはできない。基本的には、ケージに入れて、本人と別。一緒にいたければ、自家用車。

項目については、知的の方が書くのは、難しい。静かな環境や一人の場所が欲しいなどは、で行った方が良い。

- ・知的障がい者（静かな環境を好む方）

チェックリストを受付で見えていただいて、こちらに案内された。

受け付けてくれた方は、チェックリストを見たのでわかってくれても、受付していない（チェックリストを見てくれていない）他のスタッフがわからない。

例えば、体を触れられるパニックになるなどは、みんなに知ってもらいたい。どう対応していくのか。チェックリストを記入する側は、対応してくれると思ってくる。

- ・精神障がい者（不安と緊張で過呼吸になった方）

実際には、人込みが苦手な精神の人が多く。一人で不安だから避難所に行った時に、途中で過呼吸になったりすると思う。実際に人がわさわさしている時に、対応してもらえるのか。

チェックリストの簡易版の項目の中に『支援者をお願いしたいこと／特性・障がい名』とある。しかし、書いても地域の人にはわからないのではないか。具体的に『話すことが苦手なので声掛けしてください』と書く方が良い。（疾患名は、支援者はわかるが、地域の人にはわからないではないか。）

- ・「その他気をつけてもらいたいこと」が、みんな書けない。何に気を付けてもらいたいか。

- ・記入例であるように『たまごアレルギー』と書いたとして、受入側はどのように把握するのか。たまごサンドが支給された時にどうするのだろう。

- ・障がいがあることを知って欲しいと人とわかって欲しくない人もいる。

- ・受け取る方がどこを重視するのかわ変わってくる。

- ・避難行動支援者名簿に登録していますと書いた。避難行動支援者名簿への登録を促進して

いくのであれば、書いていいのかと思った。

受付役

- ・避難所でお願ひしたいことは、裏面より表の方が見やすい。安否確認（連絡先を記載するところ）は裏面でよい。
 - ・ご案内の仕方が難しく、要望に沿うことができるのか難しい。
 - ・要望が書けない方が多いと分かったので基礎情報の優先順位があると良い。
- ⇒ 危機管理課で、基礎情報が全部必要と言われているのかどうかよる。全部埋まっていないと避難所に入れないわけではない。
- ・防災対策チェックリストとして、質問に対して、入れ込む形ではなく、質問の文字の大きさを変えたり、質問と答えを分けたりすると良い。（ワクチン接種の間診票のように）
 - ・市民もみんな同じ様式で防災チェックリストに 切り込みを入れて、障がい、アレルギー、介護が必要など、紙の切り込みの形でわかるようにする。
 - ・その場で書いてもらうか、書いてきてもらうか。
- ⇒ 危機管理課に提言か。

(2) 神奈川工科大学共催による研修会の実施について

目的：

平常時から災害について考え、リスクマネジメント体制構築のため、地域連携及び防災対策に注力している、学校法人神奈川工科大学地域連携・貢献センターとの協働により、厚木市障害者協議会の部会である防災プロジェクトにて作成した防災対策チェックリストを実際に障がい者の方に作成していただき普及啓発を進めていく。

実施日時：

令和5年11月17日（金） 10:10～12:00

集合場所及び集合時間：

神奈川工科大学 先進技術研究所D2

10:00 集合

内容：神奈川工科大学施設見学（40分～50分）

防災対策チェックリスト講話及び作成作業

対象者：

荻野地区にある通所施設、昨年参加していないプロジェクト委員、本年度の新規プロジェクト委員。

本日欠席プロジェクト委員には、事務局より参加の確認をする。

研修に参加する方は、メールで案内する。

(3) その他

民生委員・児童委員への質問

- Q. 普段の地域の活動の中で、障がい者との繋がりや困りごとなどを教えて欲しい。
- A. 災害の場合は、身の安全を考えてもらい、公助で良いと思う。慌てず、避難所まで安全のルートをとってもらえない。目の不自由な人もいるので、そういう人は付き添いが必要である。自治会長とも相談しながら、来年の避難訓練には、避難所マニュアルを見直し中身の濃いものを作っていきたい。上依知小学校が避難場所。
今年の防災訓練は、水消火器の訓練を子供、女性、高齢者に行ってもらった。また、簡易式トイレの紹介をした。
障がい者との日常の繋がりはあるが、訪問してもいない場合もある。高齢者だったり、

足が不自由だったりいろいろである。

Q. 今年の厚木市の防災訓練から、避難行動要支援者を交えた避難訓練を行っている自治会があるが、実際行っているのか。

A. 藤塚、山際、下川入りの入っている自治会で行ったと聞いている。

⇒ 藤塚中学校避難所の確認をした様子。建物の3階に体育館があり、外に別室があるわけではない。校舎の上が体育館である。あの体育館は使いづらいという声を聞いたが、それぞれ立地条件が違うので、そこをどう上手く使えるかだと思う。

・避難行動要支援者を交えた避難訓練を行った自治会の内容を知っているところがあったら、教えてください。

Q. 民生委員・児童委員の集まる会議で、防災対策チェックリストの周知や障がい者はどういう感じか等の情報共有することは可能か。

A. たぶんできていない。

・社協が民児協の事務局を持っている。会長会を毎月行っているのでそこで議題を載せてもらえれば、各地区の地区会議の中で紹介することは可能である。

⇒ 最初は民児協でご案内はしている。

(昨年12月に民生委員・児童委員の改選があったので新委員は知らないと思う。)

あつぎ災害ボランティアネットワークによる情報提供

避難所設営シールキッド(5年間使用可) 大川印刷

20,000円

⇒ 危機管理課に情報提供すると良い。

障がい福祉課が管轄している地域生活サポート事業で購入可能。

以 上